

## 239 災害復旧活動を効率化する新たな位置情報Nコードの普及活動

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
一般社団法人 Nコード管理協会 【平成 27 年】	1120105004602	その他事業者 【複合サービス事業】	大阪府

- 近年多発する地震、洪水、土砂災害、火山噴火等の自然災害においてはほとんどが住所や目標物では正確な位置を表現できない。一般社団法人Nコード管理協会では、緯度経度を誰もが分かりやすいように 10 進法、整数に変換した新たなNコードという座標体系を開発しその普及促進を図っている。
- Nコードを使うと災害時等において僅か 8 桁の数字で約 5mの精度で位置情報の共有が可能になる。兵庫県防災企画局を起点に消防防災関係で広がりを見せ始め、一般財団法人消防科学総合センターが全国自治体の消防防災機関に無料で配信している「消防防災 GIS」に採用されている。さらに、全国航空消防防災協議会からも災害時に使える最も優れたコード体系と評価されており、関西圏以外だけではなく、全国展開に向けた活動を進めている。
- Nコードは紙地図、電子地図、カーナビ、携帯電話等の位置情報利用媒体の座標を統一することも可能であり、災害時における位置情報の一元化で救助復興活動は大幅に効率化される。
- 同協会では、スマートフォンでNコードを取得できるアプリを誰もが使えるように無料公開しているため、災害対策本部と関係機関さらには住民までを含めた位置情報の共有が可能となる。
- Nコードは全世界対応で、文字、言語のバリアがないため、頻発する海外の災害の救援活動においても大きな役割を果たす事が可能であり、日本発の防災システムとして国際貢献が可能となる。
- 同協会が無償提供しているNコード地図検索ページやスマートフォンのNコード取得アプリは観光や物流他日常生活において普段使いができるように工夫されていることが特徴となっている。